

輸送動向について(1月分)

平成20年2月

1. 輸送概況

今月は、下旬に北日本地区を中心とした強風による輸送障害が発生し、高速貨40本が運休した。

荷動きについては、大型連休のため営業日が少なかったほか、下旬には輸送障害の影響を受けたこともあり、全体としては弱含みで推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物及び紙・パルプが前年を下回ったものの、自動車部品及び食料工業品などが前年を上回り、全体では前年比101.8%となった。農産品・青果物は備蓄米の積み増しによる政府米の減送が影響した。一方、食料工業品は価格改定を控えたビールの出荷が旺盛となり、増送となった。

車扱貨物は、石油などが前年を下回り、全体では前年比98.3%となった。石油は気温の低下に伴い灯油が持ち直したものの、重油の減送が続き、前年を下回った。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,754	1,723	101.8%	19,326	19,189	100.7%
車 扱	1,161	1,182	98.3%	10,415	10,996	94.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	188	198	-10	94.9%
	化学工業品	164	164	0	100.0%
	化学薬品	133	133	0	100.0%
	食料工業品	206	195	11	105.6%
	紙・パルプ	310	314	-4	98.7%
	他工業品	142	130	12	109.2%
	積合せ貨物	186	180	6	103.3%
	自動車部品	73	60	13	121.7%
	家電・情報機器	29	29	0	100.0%
	エコ関連物資	34	33	1	103.0%
	その他	289	287	2	100.7%
	コンテナ計	1,754	1,723	31	101.8%
車 扱	石油	777	781	-4	99.5%
	セメント	51	52	-1	98.2%
	石灰石	71	69	2	102.8%
	車 両	123	134	-11	91.7%
	その他	140	146	-6	95.6%
		車 扱 計	1,161	1,182	-21

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)